

みなと高等学園学校運営協議会（コミュニティ・スクール）  
令和4年度 第3回会議 <議事録>

日 時 令和5年3月7日（火）  
午後3時30分から午後4時30分まで  
場 所 みなと高等学園 3階研修室

(1) 開 会

(2) 出席委員

(敬称略)

発達障がい者総合支援ゾーン関係	桑村 真由美
行政関係	四宮 佐智
発達障がい者総合支援ゾーン関係	島本 敬子
発達障がい者総合支援ゾーン関係	島本 耕志
就労・実習関係	庄野 忠雄
学識経験者	高原 光恵
学校(校長)	佐尾山 秀樹

\*就労・実習関係 宮城 弘明，(PTA会長) 時本 貴実子各氏からは都合により欠席のため，後日，意見を伺った。

(3) 学校長挨拶

○本年度の教育活動についての概略と，日頃の各委員の学校運営への協力について謝辞を述べた。

(4) 協 議

① 地域との連携に関する取組について（教頭より）

- 後期における地域との連携について，報告した。
- 年間を通して実施した事業について，説明した。

② 学校評価について最終報告（教頭より）

- 各目標の後期における達成状況について，各担当教頭から報告した。
- 各委員から，達成状況について数点質問があり，詳細を説明した。

③ 各委員からの提言等について

(委員より)

- 教員の校内研修参加について，22%の教員が，1回も参加ができていないが，担当部署に偏りは見られたか。

(学校より)

- 担当クラスや学科によつての偏りは見られない。校内研修のみのカウントとなっているので，校外での研修や，オンライン研修などの受講数については含めていない。教員一人一人が資質向上の意識を持つように，計画運営を工夫し参加率を上げていきたい。

(委員より)

○地域連携の中で就労につながった事例はあるか。

(学校より)

○清掃活動「みなとクリーン」では就業体験させていただいている。

○スーパーオンリーワンハイスクール事業で連携した店舗には、進路担当者も同行し、今後の就業体験の可能性があるかという視点を持って参加した。

(委員より)

○キャリア教育の部分で、進路については、一般就労、A型事業所への就労が一定数保たれている。普段の進路指導の効果が現れていると思われる。

○離職した生徒や、その後のケアについてはどうなっているか。

○全ての進路先を回っているとあるが、学校でできる部分、関係機関につなぐ部分で、双方の負担とならないように支援をつなげられたら良いと思う。

(学校より)

○在学中に丁寧に実習を重ねて就労していくが、中には施設から通う生徒などは、生活形態と就労とが一度に新しくなり、生活が乱れて離職となるケースもある。

○本校では2年生時に拡大進路相談を行い、関係機関の方とのつながりを在学中から作るようにしている。離職の場合には、アフターフォローに入り、次の就労に向けてバックアップしている。

(委員より)

○交流活動は、乳児院にとって大変ありがたい。一緒に活動する経験は大切に考えている。

○人権活動や献血キャンペーンで他の高校生との交流機会があるようである。同年代との交流の機会も良いと思う。

(学校より)

○同年代の交流、他校の高校生との交流も機会を捉えて実施する。

(委員より)

○ホームページは136回更新ということだが、写真など個人情報の扱いは大変ではないか。

(学校より)

○写真等の公開については、入学時に確認をし、行事ごとに担当が確認して掲載するようにしている。在学中に、写真掲載についての意識が変化し、テレビや新聞の取材などを受ける生徒も出てきている。

(学校より)

○コロナ禍ではあったが、制約のある中で特別活動の推進をしてきた。文化祭を縮小した形で実施し、参観していただいたが意見を聞かせていただきたい。

(委員より)

○表現の部の参観が、3年生の保護者のみであったが、来年度は全保護者が参観できるようにできたら良いと思う。

○可能であれば、地域の方や関係機関の方にも見ていただけると良い。

(学校より)

○委員の方から見て、本校の魅力を教えていただきたい。  
(委員より)

○多くの社会人講師とリアルな体験ができること。

○生徒が一所懸命。挨拶がきちんとできるところ。

○社会に出たときに、自分で生活できる自立するための力を養えていること。

○進路に関わる先生方のフットワーク，情熱，丁寧さ。

○4学科それぞれの特色ある取組や，連携。

○4学科があることが魅力。各学科の取組を，ホームページでより詳しく発信してはどうか。

(5) その他 (事務連絡)

来年度の委員についてのお願い

来年度の大まかな流れと実施時期についての案内

(6) 閉 会